

学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 友だちいっぱい 蒔田の子」
横浜市立蒔田小学校だより

平成27年度

3月号

平成28年2月29日



まいた

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

校長 保科 泉

インフルエンザの猛威は、二月一、二週目の合計五クラスの学級閉鎖後すっかり鎮静化し、中旬以降は欠席数もめっきり少なくなり元気に外遊びをする子供たちが校庭に戻ってきました。

二十七年春、校門脇のピンク色の芝桜が、新一年生、そして新学期を迎えた蒔田っ子を迎えてくれました。前の年の冬に、明るく新学期を迎えられるように、と六年生が植えてくれた花たちが見事にその役割を果たしてくれました。

その一年生は先日、この春に入学してくる近隣の幼稚園・保育園の子供たちを学校に招いて、校内を案内していました。安心して蒔田小に入学してもらうための交流活動の一つですが、その背中はずっとかり先輩の雰囲気を感じさせています。

様々な緑色が溢れてきた初夏、六年生の描いた「私の好きな場所」が廊下に掲示されました。自分の思いを効果的に表せるように、目の付けどころや構成、色使いなど、さすがが六年生と感心させられました。絵のできばえだけでなく、そこに込められた気持ちが見る方にも伝わり、木々の緑が様々なように、蒔田小の様々な表情を教えてくださいました。



ユリ、オシロイバナ、ザクロ、校内に赤い花が溢れた夏、澄んだ空気の中くつきりと浮かんだ雲の白さが美しかった秋。カラフルな自然の移ろいの中で、蒔田小の子供たちは本当に元気に成長してきました。それをリードしてきた六年生の力は、本当に大きいものでした。

二月二十三日に「まちとともに歩む学校づくり懇話会」が行われました。この一年の本校の教育活動について委員の皆様にご報告し、評価していただくとともに、来年度に向けての蒔田小のあり方についてご意見をいただきました。その中で、五、六年生が良い方向に学校を引っ張っているということ、全年通じて、運動することに意欲的になってきたこと、健康について関心をもつようになってきたことについて、前向きに評価していただきました。引き続き取り組んでいかなければならない課題もあり、より良い学校にするために職員一丸となって粘り強く計画的に教育を進めていくようご意見をいただきました。

五年生が新年度に向けて植えた芝桜が最初の白い花をつけました。六年生から新六年へ引き継いだ一つ目のバトンです。六年生の皆さん、ありがとうございます。そしてご卒業おめでとうございます。

